

特集 | 臨床につなげる 専門基礎科目

本特集では専門基礎分野の「人体の構造と機能」「疾病の成り立ちと回復の促進」として、何を・いかに教えるかを検討する。

改正指導要領には「臨床で活用可能な」内容を看護基礎教育に求め、「演習を強化」することとあわせて留意点にもりこまれたが、「臨床で活用可能な」知識はどのように精選されるべきなのか？ 「演習」とはどのような学習方法を指すのか？

合計15単位でどこまでできるのか、課題は多いと思われる。病理学、薬理学、解剖学、それぞれの試みを寄稿いただいた。

金華山島の寒い夜の始まり

